

名古屋工業大学 極微デバイス機能システム研究センターは、学内共同教育研究施設として、「極微細な構造をした新規半導体材料及び新機能デバイス・システムの研究開発並びに産業・生産技術に直結した技術の確立等を行い、もって教育・研究の進展に資すること」を目的として平成15年4月1日に発足しました。本センターは、従来の極微構造デバイス研究センターの設置期間満了(平成5年4月～平成15年3月)に伴い、そこでの10年間の研究成果を基にして上記目標を実現すべく設立されたものであり、現在にいたっております。

研究体制は教授2名、助教1名、事務補佐員1名、非常勤研究員5名の専任者と併任のセンター長から構成されています。

この報告書第十二巻では、この1年間に行ってきた窒化物系半導体の材料研究、光・電子デバイスへの応用を目的とした材料の研究およびシステムの研究に分けて成果をまとめております。

今後も学術ばかりでなく産業界にも貢献できるよう開かれた研究開発を行っていく所存です。内外の関係各位のご指導・ご援助に厚く御礼申し上げますと共に、今後とも私供の活発な活動を見守り下さいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 3 月

名古屋工業大学

極微デバイス機能システム研究センター

センター長

江川 孝志

江川 孝志